

第三百號

各所電信線架設ノ儀追々落成候ニ付通信規則別冊之通相定候條此旨
布告候事

明治六年八月十三日

太政大臣三條實美

0653

0654

大日本政府電信取扱規則

大日本政府電信取扱規則

第一 電信ハ瞬間萬里音信ヲ通スル至緊至妙ノ機關ナリ然リト雖ハ不爾延延ノ憂ナク誤謬ノ煩ナク全達セントハ請合難シトス何ントナレハ信總器機等不慮ノ損傷ニ逢ヒ或ハ書寫ノ不明ヨリ不通延延誤謬等ノ事故アレハナリ是皆止ヲ得サルノ致ス所ニシテ此等ノ爲メ用辨ヲ關キ商業其他ニ付テ損失ヲ受ケ或ハ其事ヨリ起ル損失アリテ苦情ヲ訴ルト雖ハ一切政府ニ於テ關係或ハ辨償セサルヘシ但其用辨ヲ誤ルト實ニ我政府ノ電信線ヨリ起ルト明白ナル時

ハ其通信料ヲ指戻スヘシ然レトモ此事ハ政府
ノ信線ニ係ル分ノミニシテ若シ他方ノ線ヲ連
用スル時ハ其線ニ係ル分ハ總テ出狀人ノ損失
タルヘシ

第二 通信ノ賃料ハ出狀人ヨリ前拂タルヘシ

第三 音信文ハ母歐時氏萬國電信ノ假字ヲ以傳
送ニ用ユヘキ諸邦ノ語若クハ羅旬語ヲ用ユヘ
シ

第四 出狀人ヨリ頼ニ出タル音信紙ハ句點ヲ除
クノ外總テ賃料ヲ拂フヘシ尤音信初發ノ局名
及ヒ年月日時刻附等ハ無賃ニテ届先ノ音信紙
ヘ書入レ相渡スヘシ

第五 和文ハ宛名住所ヲ除キ假字二十字迄ヲ一音信ト定メ其餘ハ十字ノ限リトス之ヲ増ス毎ニ賃料ヲ加フヘシ十字ニ滿タサルモ又同様ナリ横文ハ宛名住所ヲ加ヘ二十語ヲ定メトシ其餘ハ十語ヲ限リトス之ヲ増ス毎ニ賃料ヲ加フ十語ニ滿タサルモ又同様ナリ

第六 横文中辭ト雜リタル數字ハ一字ヲ一語ニ充テ通算ス接續シタル數字ハ二字ヨリ五字迄ヲ合セテ一語ニ充テ六字以上モ此例ニ準スヘシ

第七 次第番號ノ順次ヲ表スル爲メ三ノ字ヲ數ニ添ル時ハ其一字ヲ數字一字トナシテ算スヘシ

一語ノ價ヲ拂フカ如シ

第八 洋人ノ名氏ヲ略シ頭字ノ二字ヲ用ユルハ

二字ヲ二語ニ充テ算スヘシト書スルカ如シ

第九 七綴以下ハ一語トシ七綴以上ハ二語ト見
做スヘシ

第十 横文中切要ノ語ヲ表スル爲ノニ每字下ニ

線ヲ引タル語ハ許多ノ数ト雖モ各々二語ト算

ス最モ一文章下ニ一線ヲ以テスル時ハ唯一語

ヲ増ス不シウハ一語トシテ並ニブツケ

ツトハ一モ同様ナリ

第十一 電信ナキ遠方ノ地へ通信ヲ乞者ハ郵便

ヲ以テ送達ス仍テ届方便利ノ地方ニ於テ受方

ノ局ヲ定メ其局名ヲ宛名ノ下ニ書入スヘシ且
ツ其語數式ノ賃料ヲ拂ヒ外ニ郵便ノ賃料モ加
ヘ拂フヘシ

第十二 出狀人返信料ヲ豫シメ拂ヒ置クモ妨ナ
シトス此時ハ其音信本文ノ終リ即チ出狀人姓
名ノ前ニ漢語返信料拂濟ト記載スヘシ但二十
語以下ノ答書ヲ得ント欲セハ只返信料拂濟ト
ノニ書入其語數ノ賃料ヲモ亦拂フトス

第十三 返信料前拂ノ高ハ出狀人ノ元通信料三
倍ノ價ニ越ムヘカラス

第十四 前條ノ返信ハ通例ノ音信ト見做テ取扱
フヘシ

- 第十五 誤謬ノ發ヲ防ク爲メニ音信ヲ繰返ス
 ヲ得ヘン此ヲ名ケテ書留電信トス
- 第十六 書留電信ハ局々ニテ繰返シ誤謬ノ有無
 ヲ正シ而テ届ケ渡シノ時刻並受取人ノ姓名又
 ハ不届ノ事實等詳細出狀人へ報知スヘシ
- 第十七 書留ト云フ語ヲ出狀人姓名ノ直下ニ記
 載スヘシ且其賃料ヲモ拂フヘシ
- 第十八 書留電信料ハ通常音信料ノ倍タルヘシ
- 第十九 音信中解シ難キ語アリテ再ヒ通信ヲ乞
 ノ者アルトキハ假ニ其賃料ヲ收領シ往復ノ上
 當シ送致セル局ノ過失ニ決セハ其賃料ヲ返ス
 ヘン或ハ送ル者ノ誤ニ出レハ勿論其賃料ヲ返

サドルヘシ

第二十 出狀人ハ音信ノ先方ニ届キシヤ或ハ不届ヤ其事實報告ヲ求メ得ヘシ此類ハ届先名宛ノ直下ニ報知依頼ト記載シ其通信料ヲ拂フヘシ然レモ此カ爲メニ音信ヲ操り返スコトヲ爲サズ

第廿一 前條ノ報知ヲ乞フ者ハ更ニ一音信ノ賃料ヲ拂フヘシ

第廿二 官報並ニ私報トモ符徴ヲ以通信スルヲ得ヘシ其符徴ハ數字又ハ羅馬字ヲ用ユヘシ但シ數字ト羅馬字トヲ併用スヘカラス
前文ニヨリ音信ノ本文ハ全ク符徴ヲ以記載ス

ルヲ可トス或ハ其一部分符徴ヲ以テ記スルモ亦妨ケナシトス然レニ其一部分ノミニ用ユル時ハ通用文ト符徴文トヲ區畫スル爲メニ「」括弧ヲ以テ符徴文ヲ圍ミ置クヘシ是ヲ算スルニ及テハ數字又文字小讀終點其他句讀等一切合加シ之ヲ五除シ其商ヲ以テ語數トス若シ分數アレハ亦一語ト見做シ右通用文ノ語數ヲ加ヘ以テ其全本文ノ語數トス

第廿三 符徴電信ハ書留電信ト取扱ノ法同一規ニシテ其賃料モ亦同一ナリ

第廿四 一音信フ其同都邑中ニ住スル數名ヘ送達スルトヲ得ヘシ尤寫シ手數料トシテ横文ハ

每一通廿五錢和文ハ每一通七錢ヲ拂フトス
其届賃料ハ定規之通拂フヘシ

第廿五 電機不通ノ節ハ音信ヲ最モ近傍ノ通信
無差支局ヘ郵便ニテ送達スヘシ

第廿六 未タ傳送セサル間ハ出狀ノ音信既拂フ
ノ賃料共取戻スヲ得ヘシ已ニ傳送中ナレハ
其賃料ハ損失タルヘシ

第廿七 音信ノ報知先へ達スルヲ留メント欲セ
ハ新ニ賃料ヲ拂ヒ其趣キヲ未局へ申送ルヘシ

第廿八 音信ノ送達ニ付不規則アルヲ出狀人ヨ
リ歎訴スルハ當然ナレトモ其延引誤謬等ヲ申
立ル時ハ必ス受取人ノ所持スル電信報ノ寫ヲ

添テ引合ノードス

第廿九 宛名住所等認方ノ違謬ニヨリテ其普信ノ届先ニ達セサルハ本人ノ過チナレハ其誤謬ヲ改ント欲セハ更ニ其資料ヲ拂フヘシ故ニ其名宛ハ充分ニアリタギ事ニテ何府何區何番何某或ハ其職業會社ノ名號等ニテ詳細ニ記スレハ其電信ノ速カニ届キ誤ナク達スルニハ肝要ノトナリ

第三十 誤算ニテ請取タル資料ニ不足アル時ハ出款人ヨリ之ヲ補ヒ拂フトス若シ過余ナル者アレハ之ヲ同人ニ還付スヘシ